



# Dream

2011年4月号  
Vol. 44-10 2011. 4. 1  
Bulletin

## 会長標語 みーんなで やろまい

国際会長主題 「心新たに立ち上がろう」	藤井 寛敏 (東京江東クラブ)
アジア地域会長主題 「心新たに立ち上がろう」	高田 一彦 (横浜クラブ)
西日本区理事主題 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」	仁科 保雄 (京都キャピタルクラブ)
中部部長主題 「ワイズはフェイスtoフェイス!」	渋谷洋太郎 (金沢クラブ)
クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」	

### 今月の聖句

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。

コロサイ人への手紙 3章 15節、16節

### 強調月間 YMCA サービス ASF

例会ご案内	
<p>◎4月第1例会</p> <p>日時：4月14日(木) 18:45~20:45 場所：ラ・スースANN Tel. 052-950-0280 担当：浅野猛雄君</p> <p>開会宣言・点鐘 八木武志会長 ワイズソング 5つの信条 柴田洋治郎君 食前の感謝 深川 直君</p> <p>—会食— 卓話 「名古屋開府の経緯と歩み」 講師：後藤幸一氏 Network2010 事務局 事務局長 メンバースピーチ 菅沼東平君 報告 閉会宣言・点鐘 八木武志会長</p>	<p>◎4月第2例会</p> <p>日時：4月21日(木) 19:00~20:30 場所：名古屋YMCA 会議室 出席義務者 加藤友昭君 松本 勝君</p> <p>◎根の上ワーク</p> <p>日時：4月17日(日) 10:00 現地集合 場所：根の上キャンプ場</p> <p>◎次期中部事務局会</p> <p>日程：4月28日(木) 19:00~20:30 場所：名古屋YMCA 会議室</p> <p>◎春の根の上まつり</p> <p>日時：4月29日(金・祝) 10:00~15:00 場所：根の上キャンプ場</p>

3月報告 (3月17日現在)  
在籍者：正会員 22名 広義会員 1名 出席者：18名 3月暫定出席率：81.8%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!  
強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う。



### 会長メッセージ ⑩

会長 八木 武志

ようやく春らしい季節を迎えましたが、思いも懸けぬ大震災が発生して日本列島は哀しみに沈んでいます。各地のYMCAやワイズメンはすぐさま救援活動の方策に取りかかっています。個々のYやクラブでやれることは小さくても力を合わせれば少しは大きくなります。YMCAやワイズメンズクラブの結集の源であるヨハネによる福音書第17章21節にあるとおり「みんなのものが一つになるように」力を合わせていきましょう。

仙台YMCA、盛岡YMCAが地域の中で人々のために働くことができるように、全国のワイズメンがそれぞれ持てる力を心から合わせてサポートしましょう。

「ワイズはフェイス TO フェイス」

### 3月第1例会報告

#### ●卓話「方言で地域活性化を」

㈱ボーノプランニング代表 大野 健氏

3月10日(木)

ラ・スースANN

大野氏は岐阜県美濃加茂市に在住で、商品企画などを行う会社の代表者。名古屋の広告代理店に大学卒業後に入社後、タイに渡って自動車販売のプロモートの仕事に従事。帰国後、郷里の岐阜で会社を立ち上げたという。

09年秋に「岐阜県方言カルタ」を製作する機会があり、方言が老若男女の心をつかみ、ユーモアと温かみのある地方の文化であることを再認識。多くの人に「名古屋弁のカルタはないのか」と聞かれ、昨年11月には尾張の殿様を代表する第7代尾張藩主である徳川宗春候にあやかって「宗春かるた」を製作販売した。

かるたは名古屋弁の単語をフィーチャーさせ、発祥や古今ナンバーワンの事物をテーマにして文面に工夫を凝らし、一枚一枚人形を作ってロケ地にもこだわって写真撮影するという凝りかた。かるたの読み手には落語家の三遊亭円丈師匠。人形モデルには許可を得て河村名古屋市長にお願いした。

開府400年祭のパートナーシップとしてかるた発売会記念の「ちんちん落語会」を市内で開催。名古屋弁で名古屋を熱くしようと盛り上がった。

かるたはお年寄りの会話を活性化させ、子供達とも一緒になって遊べる玩具である。ただ、新聞やテレビで紹介されたこの「かるた」だが、例会出席者の中で知っている人はごくわずか。「市長の名古屋

弁は嫌い」という意見も出るなど、名古屋弁に対する評価も様々だった。



### 3月第2例会報告

3月17日(木)

名古屋YMCA

3月第2例会での報告、決定事項は次の通りです。

- ①4月例会の卓話は講師後藤幸一氏 Network2010 事務局事務局長による「名古屋開府の経緯と歩み」に決定された。
- ②根の上ワークを4月17日(日)に行われることが報告された。
- ③第2回中部評議会が3月21日(月・祝)に名古屋YMCAで開催されることが報告された。
- ④ニュージーランド地震並びに東日本大震災支援の街頭募金を3月19日午後3時中央教会集合で実施されることが報告された。
- ⑤京都パレスクラブの40周年記念例会が震災の為に中止になったことが報告された。
- ⑥西日本区大会の登録はクラブでまとめて登録をするので、出席者は4月の例会までに必ず会長まで報告をする、なお、宿泊は各自で旅行会社に申込みこと。
- ⑦次年度の役員について協議され、以下の通り役員案が決定した。

会長 柴田洋治郎、副会長 服部敏久、書記 浅野猛雄、一般会計 深川直、特別会計 鈴木浩之、直前会長 八木武志、連絡主事 東田美保、Yサ・ユース 鈴木一弘・加藤友昭、地域奉仕・環境 松本勝・野崎勉、EMC 八木武志・、山田英次、ファンド 鈴木孝幸・遠藤彰一・鈴木浩之、交流 野村秋博・鈴木孝幸・橋爪良和、広報(ブリテン編集) 深川直・菅沼東平・橋爪良和、(ブリテン印刷発送) 浅野猛雄・長谷川和宏・、八木武志、根の上担当 山村喜久・伊藤貴久・杉山敏雄・八木武志、メネット連絡員 浅野猛雄、メール委員 柴田洋治郎 (敬称略)

- ⑧柴田君より会計監査を作ったらどうかとの意見が出されたが、継続審議とした。
- ⑨長谷川次期部長より西日本区2000推進チームに東海クラブから1名選出するようにとの要請があるもようだと報告をされた。



### 大震災支援街頭募金に100名参加 1時間半で40万4275円

11日の東日本大震災・ニュージーランド地震の支援のため、名古屋YMCAが呼び掛けた19日の街頭募金に学生リーダー、ユースOB、学校関係者、スタッフ、ワイズなど100名以上が参加した。

栄と名古屋駅での約1時間半の募金で40万4275円が集まった。募金は4月いっぱい行われる。

# 東日本大震災に思う

## 震災で取り戻したものの

今回の震災における連日の悲惨な被害状況がテレビ画面に映し出される度に、誰しもこれは悪夢ではないか。更には、この名古屋で現在比較的安泰な日常が送れる自分にはある種の後ろめたさを感じられる。

このような状況の中で、ある新聞に掲載された、宮城県出身の作家の次のような一文を見つけた。「私たちは生来のやさしさや、愛、勇気など人間の本質的な何かを取り戻さざるを得なくなっている。ひきこもりや孤独、無縁といった言葉は今日、過去のものとなった。人々は血縁、地縁を超えて連帯し始めた。これが3月11日以前の日本と同じ国なのだろうか」と思う。

上記の文には、我々ワイズやYMCAの目指すものと相通ずるものがあると思われた。残念乍ら、私は、このような悲惨な状況に接して初めて真摯に考え、上記の作家と同じ心境に至った自分を恥じるものである。

この時期、多くの人々が今、自分には何が出来るだろうかと考えている。幸いなことに我々ワイズには身近に、災害支援活動には永年の実績があるYMCAが存在している。これを使わない手はない。我々自身もそうであるが、YMCAを側面支援することで「生来のやさしさや、愛、勇気など人間の本質的な何か」を取り戻せたらと思う。(柴田 洋次郎)



## 支援の側にこそ「頑張り」がかかせない

被災地では、今、被災した人達が懸命に耐え、我慢をし、そして必死になっているのだ。現地情報は日に日に入り、更に変化しており、心が痛む。

「今」は生活・生命の維持の時、そして、しだいに物心両面における現状からの復旧、復興への長い時へと進んでいくのだ。これには何年という長い期間が必要だ。なかでも、心の復活、復興を大切にしたいと思う。子供達が、地域で、笑顔で伸び伸びと活動する時が来るのが目指すところだ。そのためには、長く、継続した支援がかかせない。

支援の側にこそ「頑張る」ことが求められている。(鈴木 浩之)



## 「絆」のつながり

未曾有の惨事は一瞬にして東北地方を地獄絵に陥れた。日本人すべての脳裏に永遠に焼き付けられる日となった。

11日以降、事態は深刻になっていく中で、すべきことはなにか、と自分に問いかけていたら、こんな体験に出くわした。震災翌日の12日夜11時すぎに、栃木で震災に遭った男性が名古屋のわが家に宿泊を希望してきた。一時避難である。彼は娘が高校

・大学学生時代に国際交流協会(AFS)名古屋支部でも活動した仲間で、我々両親とも顔見知り。地元の高専を卒業し、昨年からは宇都宮の自動車関連工場(トヨタ系?)でSEの仕事に携わっている。彼の実家は犬山だが、深夜で名古屋止まりとなった。

今回の地震で会社同僚3人が、壁の崩壊などで圧死。心の痛みが話を聞いていても伝わってくる。直ちに会社命令で現地を離れ、必死に交通機関を乗り継いで、夜遅くなんとか名古屋まで来ることができたという。彼の到着前には既に名古屋のAFSの仲間たちが待ち受け、仲間の協力で夕食をたっぷり摂り、満腹感を味わったという。

娘をはじめ彼らは、学生時代にボランティアや留学生活動を通して仲間を作ってきた。「絆」のつながりである。そんなメンバーたちには、かつての貴重な体験が役立っていると感じた。地域、家族のつながりが薄いとされるいま、彼らは固有のつながりを持ち、社会を構成している。おそらく、これとは異質のつながりが震災現場でも支援されていることを願わずにはられない。(菅沼 東平)



## Y、ワイズに求められる支援

人知を超える自然の力の凄さに圧倒されました。被災された方々の心情を思うと言葉がありません。神様の癒しを祈るのみです。

復旧にあたる人々の献身的な働きに感謝しながら、かつて経験のない大津波と原発事故に日本人はどう対応していったのか、政府をはじめ関係機関には的確な情報公開と、取り組みの足跡を後世に確実に伝えていくことが求められていると思います。

現在は組織的機動力による大掛かりな救助と復興が一番だと思いますが、今後は地域に密着した息の長い支援が、YMCA・Ysにきっと求められてくると思います。その時までエネルギーを確保しておかねば。(松本 勝)



## 「スーパーで思う」

東日本大震災の後、スーパーの店頭からトイレットペーパー、米、水、カップ麺等がほとんどなくなっています。これらの物が被災された人々への援助のために送られていて品薄なら理解できますが、そのほとんどが風評による買い占めのためです。伊勢湾台風の直後商店の店先から食料がほとんどなくなる事態が発生しました、それはもちろんこの地区の被害が大きかったことによるものです。

当時母親に「前もって買っておかな、いかんわ」と言ったところ「誰も台風がくるとは思わなかった」と言ったことを覚えています。

ボーイスカウトのモットーに「そなえよつねに」と言う言葉があります、常に思わぬ災害に備えパニックになることなく、落ち着いて行動することが必要です。(浅野 猛雄)

### お誕生日おめでとうございます

メン 濱島 誠一郎君 4月3日  
 ネット 柴田 純子さん 4月9日  
 鈴木 節子さん 4月13日

### 結婚記念日おめでとうございます

鈴木 浩之・智子さん 4月17日  
 野村 秋博・靖子さん 4月23日  
 杉山 敏雄・由香里さん 4月29日



### 今月の西日本区強調月間は YMC Aサービス・ASFです

亀浦正行Yサ・ユース事業主任（熊本にしクラブ）はYMC Aの歴史に学び、使命を理解して、サポートの体制を強化しようとアピールされています。

ASFはアレキサンダー奨学資金の略で、ワイズメンズクラブの創使者P・W・アレキサンダーを記念して設置された奨学資金、将来YMC Aに奉職しようとする有意の青年に財的支援をする目的で創設されました。

中部のYサ・ユース主査は東海クラブの浅野猛雄君です。

東海クラブのYサ・ユース担当の委員長は鈴木一弘君です。



### 東海クラブだより

◇松本勝君の4月からの勤務先と連絡先は次の通りです。

学校法人柳城学院 法人事務局  
 TEL : 052-841-2635 (代) FAX : 052-841-2697

◇会費振込のお願い

年度末が近づいています。ご協力をお願いします  
 会費 1カ月 7000円

年間 84000円

振込先 三菱東京UFJ銀行  
 鳴子（なるこ）出張所  
 普通 3542610

口座名 名古屋東海ワイズメンズクラブ

**編集後記** ◆「天罰」発言には決して与しないが、今回の震災は日本の歴史的な転換点になることは間違いない。人が生きていくことの意味、人と人が支え合うことの大切さ、他人を思いやる心の温かさ。改めて思い知らされたようだ◆今後、われわれの生活が変わり、人生観も変化していくだろう。本当に大切なことを、今もう一度考えましょう。(YH)

No.	開催日	3 / 10 日 第 1 例会	3 / 17 第 2 例会	3 / 19 街頭 募金			フ ァ ン ド ポ イ ン ト
1	浅井 秀明	広 義 会 員					
2	浅野 猛雄		○				3950
3	伊藤 貴久	◎					4450
4	遠藤 彰一	○					16100
5	加藤 友昭						4500
6	柴田 洋治郎	○	○				8100
7	菅沼 東平	○	○	○			500
8	杉山 敏雄	○	○				16300
9	鈴木 一弘	○	○	○			
10	鈴木 孝幸	○					30000
11	鈴木 浩之	○	○				6050
12	野村 秋博		○	◎			15550
13	野崎 勉						1000
14	橋爪 良和	○		○			13400
15	長谷川 和宏	○	○	○			8350
16	服部 敏久	○					2750
17	濱島 誠一郎						2750
18	東田 美保	○	○				1950
19	深川 直		○				11900
20	松本 勝	○	○				4700
21	八木 武志	○	○	○			11300
22	山田 英次	○					6200
23	山村 喜久	○					7700

### ◆2010～2011年度クラブ役員

会 長：八木 武志 副会長：加藤 友昭  
 直前会長：伊藤 貴久 書 記：浅野 猛雄  
 一般会計：柴田 洋治郎 特別会計：鈴木 浩之  
 連絡主事：東田 美保

YMC Aサ・ユース 鈴木（一）、杉山、加藤  
 地域奉仕・環境 松本、濱島  
 EMC（会員増強） 伊藤、山田、服部  
 ファンド（BF） 鈴木（孝）、橋爪、山村  
 クラブファンド 遠藤、服部、鈴木（浩）  
 交流（IBC、DBC） 野村、野崎、鈴木（孝）  
 広報・ブリテン 深川、橋爪、菅沼、浅野、  
 松本、長谷川  
 根の上担当 山村、伊藤、杉山、橋爪、  
 長谷川  
 国際募金 鈴木（一）、山村

### ◆次期中部役員

部長 長谷川 和宏 書記 八木 武志  
 会計 松本 勝 事務局長 浅野 猛雄  
 部会実行委員長 橋爪 良和  
 同副委員長 服部 敏久

【敬称略】